



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月8日

東証グロース市場

上場会社名 ユナイテッド株式会社

上場取引所

コード番号 2497

URL <https://united.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)早川 与規

問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)山下 優司 (TEL)03(6821)0000

四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,224	51.3	5,361	71.6	5,366	71.7	3,685	53.6
2023年3月期第1四半期	4,776	0.5	3,125	4.1	3,125	3.9	2,399	16.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 $\Delta 58$ 百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 $\Delta 2,095$ 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	94.31	94.30
2023年3月期第1四半期	59.62	59.55

(注) 当社は、2023年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	30,571	26,143	84.7
2023年3月期	32,318	26,647	81.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 25,897 百万円 2023年3月期 26,402 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期における1株当たり配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,150	0.1	5,000	$\Delta 14.1$	5,000	$\Delta 14.5$	3,300	$\Delta 20.3$	79.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	40,412,690株	2023年3月期	40,412,690株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,335,798株	2023年3月期	1,335,798株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	39,076,892株	2023年3月期1Q	40,240,924株

(注) 当社は、2023年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

2023年8月8日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、経済活動の制限が緩和されるなど回復の兆しをみせた一方、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安の進行、エネルギー価格の高騰など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、教育事業、人材マッチング事業、及び投資事業を、今後の成長をけん引するコア事業として設定しております。そして、コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいります。具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、投資先株式の売却を行ったこと等により、売上高は7,224,561千円(前年同四半期比51.3%増)となり、営業利益は5,361,600千円(前年同四半期比71.6%増)、経常利益は5,366,682千円(前年同四半期比71.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,685,458千円(前年同四半期比53.6%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、コア事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「DXプラットフォーム事業」、「インベストメント事業」、「アドテクノロジー事業」、「コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」の4区分に変更しております。以下の前年同四半期比較については、変更後の区分方法により作成しております。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、投資先株式の売却量が前第1四半期連結累計期間を上回った影響により、売上高は5,813,820千円(前年同四半期比78.4%増)、セグメント利益は5,731,216千円(前年同四半期比78.7%増)となりました。

② 教育事業

教育事業は、オンラインプログラミング教育事業を運営するキラメックス㈱により構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、生成AI学習コースの受講者獲得を目的に特別価格での提供を行ったこと、及び広告投資や体制強化のための費用が増加した影響により、売上高は341,590千円(前年同四半期比6.3%減)、セグメント損失は17,862千円(前年同四半期はセグメント利益66,909千円)となりました。

③ 人材マッチング事業

人材マッチング事業は、副業・転職マッチングプラットフォームを運営するカソーク㈱、採用支援事業等を運営するイノープ㈱及びデザイナー特化型クラウドソーシングサービスを運営する㈱リベイスにより構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、前期実施した3件のM&Aの影響により、売上高は113,365千円(前年同四半期比48.7%増)となりましたが、中核事業であるカソーク㈱の体制強化に伴うコストの増加により、セグメント損失は137,935千円(前年同四半期はセグメント損失49,114千円)となりました。

④ アドテク・コンテンツ事業

アドテク・コンテンツ事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの開発・運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じた様々なサービスを提供しており、ユニテッドマーケティングテクノロジーズ㈱、フオッグ㈱、㈱インターナショナルスポーツマーケティング、及び㈱ブリューアスにより構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、アドテクノロジー事業において、前期上期に広告予算が集中した反動により、売上高は959,883千円(前年同四半期比11.1%減)、セグメント利益は68,856千円(前年同四半期比43.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,746,994千円減少し、30,571,359千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、投資先株式の売却等により、前連結会計年度末に比べ3,774,773千円増加しております。
- ・営業投資有価証券は、投資先株式の売却及び時価評価により、前連結会計年度末に比べ2,849,957千円減少しております。
- ・デリバティブ債権は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ流動資産は389,463千円減少し、投資その他の資産は2,088,959千円減少しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,243,938千円減少し、4,427,367千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・繰延税金負債は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ1,590,868千円減少しております。
- ・未払法人税等は、投資先株式の売却等による課税所得の発生により、前連結会計年度末に比べ424,824千円増加しております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ503,056千円減少し、26,143,992千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ3,236,074千円増加しております。
 - ・親会社株主に帰属する四半期純利益3,685,458千円の計上
 - ・剰余金の配当による449,384千円減少
- ・その他有価証券評価差額金は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ2,021,563千円減少しております。
- ・繰延ヘッジ損益は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ1,719,530千円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想は、2023年3月期通期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2023年5月10日に発表しました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2024年3月期通期連結業績予想 (2023年4月～2024年3月)

売上高	13,150百万円 (前連結会計年度比 0.1%増)
営業利益	5,000百万円 (前連結会計年度比 14.1%減)
経常利益	5,000百万円 (前連結会計年度比 14.5%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,300百万円 (前連結会計年度比 20.3%減)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,370,743	17,145,516
売掛金	1,061,233	902,128
営業投資有価証券	11,236,595	8,386,637
棚卸資産	30,397	35,718
デリバティブ債権	1,942,923	1,553,459
その他	271,640	295,569
貸倒引当金	△21,662	△20,308
流動資産合計	27,891,871	28,298,722
固定資産		
有形固定資産	310,977	304,896
無形固定資産		
のれん	905,899	848,607
その他	299,394	311,692
無形固定資産合計	1,205,294	1,160,299
投資その他の資産		
デリバティブ債権	2,088,959	-
その他	821,251	807,441
投資その他の資産合計	2,910,211	807,441
固定資産合計	4,426,483	2,272,637
資産合計	32,318,354	30,571,359
負債の部		
流動負債		
買掛金	739,442	672,994
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	47,720	35,030
未払法人税等	1,201,741	1,626,566
その他	688,759	691,294
流動負債合計	2,777,664	3,125,884
固定負債		
長期借入金	54,900	53,610
繰延税金負債	2,838,741	1,247,872
固定負債合計	2,893,641	1,301,482
負債合計	5,671,305	4,427,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	379,270	379,270
利益剰余金	17,437,075	20,673,149
自己株式	△1,068,576	△1,068,576
株主資本合計	19,670,789	22,906,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,934,443	1,912,879
繰延ヘッジ損益	2,797,321	1,077,790
その他の包括利益累計額合計	6,731,764	2,990,670
新株予約権	222,743	226,226
非支配株主持分	21,751	20,232
純資産合計	26,647,048	26,143,992
負債純資産合計	32,318,354	30,571,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,776,198	7,224,561
売上原価	979,842	982,848
売上総利益	3,796,355	6,241,713
販売費及び一般管理費	670,976	880,112
営業利益	3,125,378	5,361,600
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	0
持分法による投資利益	4,339	-
為替差益	775	3,636
未払配当金除斥益	2,307	210
暗号資産評価益	-	1,454
その他	2,099	3,099
営業外収益合計	9,523	8,402
営業外費用		
支払利息	511	466
持分法による投資損失	-	1,786
支払手数料	26	-
暗号資産評価損	6,098	-
譲渡制限付株式関連費用	3,044	-
その他	106	1,066
営業外費用合計	9,787	3,319
経常利益	3,125,114	5,366,682
特別利益		
権利譲渡収入	350,000	-
その他	9,522	-
特別利益合計	359,522	-
特別損失		
固定資産除却損	2,667	-
特別損失合計	2,667	-
税金等調整前四半期純利益	3,481,969	5,366,682
法人税、住民税及び事業税	1,091,123	1,696,861
法人税等調整額	△8,373	△12,775
法人税等合計	1,082,750	1,684,085
四半期純利益	2,399,218	3,682,597
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△2,861
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,399,218	3,685,458

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,399,218	3,682,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,385,051	△2,021,563
繰延ヘッジ損益	△109,880	△1,719,530
その他の包括利益合計	△4,494,931	△3,741,094
四半期包括利益	△2,095,713	△58,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,095,713	△61,357
非支配株主に係る四半期包括利益	-	2,861

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチン グ事業	アドテク・コ ンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	362,972	75,552	1,079,188	1,517,714	—	1,517,714
その他の収益	3,258,483	—	—	—	3,258,483	—	3,258,483
外部顧客への 売上高	3,258,483	362,972	75,552	1,079,188	4,776,198	—	4,776,198
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,623	675	420	2,718	△2,718	—
計	3,258,483	364,595	76,227	1,079,608	4,778,916	△2,718	4,776,198
セグメント利益又は 損失(△)	3,206,721	66,909	△49,114	121,905	3,346,422	△221,043	3,125,378

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△221,043千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチン グ事業	アドテク・コ ンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	337,673	113,185	959,883	1,410,741	—	1,410,741
その他の収益	5,813,820	—	—	—	5,813,820	—	5,813,820
外部顧客への 売上高	5,813,820	337,673	113,185	959,883	7,224,561	—	7,224,561
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,917	180	—	4,097	△4,097	—
計	5,813,820	341,590	113,365	959,883	7,228,659	△4,097	7,224,561
セグメント利益又は 損失(△)	5,731,216	△17,862	△137,935	68,856	5,644,274	△282,673	5,361,600

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△282,673千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの報告等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、コア事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「DXプラットフォーム事業」、「インベストメント事業」、「アドテクノロジー事業」、「コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」の4区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引

連結子会社の吸収合併

1. ユニテッドマーケティングテクノロジーズ(株)

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業（存続会社）

名称： ユニテッドマーケティングテクノロジーズ(株)

事業内容： アドテクノロジー事業

被結合企業（消滅会社）

名称： トレイス(株)

事業内容： コンテンツ事業

名称： プラスユー(株)

事業内容： コンテンツ事業

② 企業結合日

2023年6月1日

③ 企業結合の法的形式

ユニテッドマーケティングテクノロジーズ(株)を存続会社、トレイス(株)及びプラスユー(株)を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

ユニテッドマーケティングテクノロジーズ(株)

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、各社が保有する経営資源を集約し、組織運営体制の効率化・最適化を図ることで、当社グループのアドテク・コンテンツ事業において利益の最大化を図ることを目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

2. カソーク(株)

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業（存続会社）

名称： カソーク(株)

事業内容： 人材マッチング事業

被結合企業（消滅会社）

名称： (株)ココドル

事業内容： 人材マッチング事業

② 企業結合日

2023年6月1日

③ 企業結合の法的形式

カソーク(株)を存続会社、(株)ココドルを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

カソーク(株)

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である人材マッチング事業の中期的な成長を実現することを目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。